

あなたも わたしも 大切な ながさかっこ 聴き合っ 話し合っ とともに学ぼう !

ながさかっこ



ながさかしょうがっこう 長坂小学校だよりNo.13 2024年3月発行 発行責任者：校長 國分 孝明

3月に入りました。あっという間の3学期、6年生はあと2日で卒業式を迎え、1～5年生はあと6回登校すれば修了式を迎えることとなります。4月の始業式に伝えた「今年の学級は最高だった」と言えるような仲間づくりはできたでしょうか?うまくいったこと、そうではなかったこと1年間にたくさんあったことだと思います。この1年間の活動をふりかえって、4月から始まる新しい学年、ステージに活かしてほしいと思います。

保護者のみなさまにおかれましては、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。今回の「ながさかっこ」が今年度最終号となります。来年度も今年度と変わらないご協力をよろしくお願いいたします。また、「ながさかっこ」の育成のために家庭・地域・学校が同じ方向を向いて連携できるようよろしくお願いいたします。



卒業式練習 (6年生)



2月22日(木)から卒業式の練習が始まりました。今の6年生が5年生の時はコロナ禍のため、卒業式への参加ができず、練習についてほとんど知ることはなく、当時の予行練習に参加しただけ

でした。そのようなこともあり、今年度の卒業式の練習は5年生と6年生がそろって始めました。

6年生の実行委員が中心となり担任の先生と事前にその日の練習のことを話し合ったり、呼びかけの言葉を作ったりしています。また、実行委員が良い見本をすることで、イメージを伝えています。



毎日の練習では6年間のがんばりや感謝の思いをお家の人に届けることを目標に、呼びかけの言葉や歌声はもちろんのこと返事や姿勢、所作にまでこだわって取り組んでいます。

本番3月15日(金)では6年生は実力以上の力を発揮してくれると信じています。また、その姿を見て5年生は最高学年への意識を高く持つことができることでしょう。そんな当日を迎えるのが楽しみな気持ちもありますが、この6年生が長坂小学校を巣立っていくことへのさみしさも感じています。何かの始まりはいつも何かの終わりの背中合わせにあるもの、中学校に向けて、小学校生活の最後の活動「卒業式」での6年生の有終の美を見ていただきますようよろしくお願いいたします。



ドッチボールの後の記念写真 →



識字学習 (5年生)

2月21日(水)に5年生は識字についてより深く学ぶために北部市民交流センターを訪れました。



授業参観の日に「読み書きができないということはどういうことなのか」ということから考え、教室で識字について学びました。

今回は実際に識字学習の教室の先生である用松先生や北部市民交流センター館長の具志堅さんに話を聞きました。家の手伝いや子守のために学校に行けず学ぶことができない状況にあった方の話を識字生本人たちが語った紙芝居をスクリーンに映して見せてくれました。また、用松先生からは「自分で目標(漢字検定等)を決めて勉強している」「子どものころに学校へ行けず学ぶことができなかったが、その悔しさをばねに文字を覚えることをがんばった」「自分が書いた文字が相手に伝わったことが喜びや自信につながった」というお話がありました。具志堅さんからは「学習できることが当たり前じゃない、そう思って学ぶことが大切」というお話がありました。

当日は北中小学校と日新小学校の5年生も一緒にお話を聞きました。2年後第三中学校に入学する子たちも多く、今回の学びを中学校へつないでいてもらえたらと思います。



自分らしく (4年生)

2月22日(木)に4年生は性の多様性の学習として、谷川さんにお話を聞きました。谷川さんは幼少のころから自分の性について違和感を感じており、「かっこいいこと」に憧れていたということでした。中学校時代に仲良しグループの友だちとの関係を別の人からアウトギング(本人への確認もなく勝手にひろめられること)され、グループの関係がギクシャクしたそうです。その後高校に入学するものの1年生の間は登校するのが難しい状況になります。2年生になり「このままではだめだ」と思い学校に通うようになった時、友だちの「男とか女とか関係なく、ありのままのアイリがすき」の一言で状況が一変します。自分の性について悩み苦しんでいた谷川さんは「今の自分の体のまま自分らしく生きる」と考えが変わったそうです。そこから「自分らしく」生きることを選んだ谷川さんは、自分らしくあることで様々な境遇にある人たちのことも分かっているようになったそうです。

一人ひとり顔がちがうように同じ人は存在しない、そして「どんな人にも『心』がある。自分の心もまわりの人の心も大切に」というメッセージを4年生に送っていただきました。



授業後には一緒に給食を食べ、昼休みにはドッチボールをして遊びました。

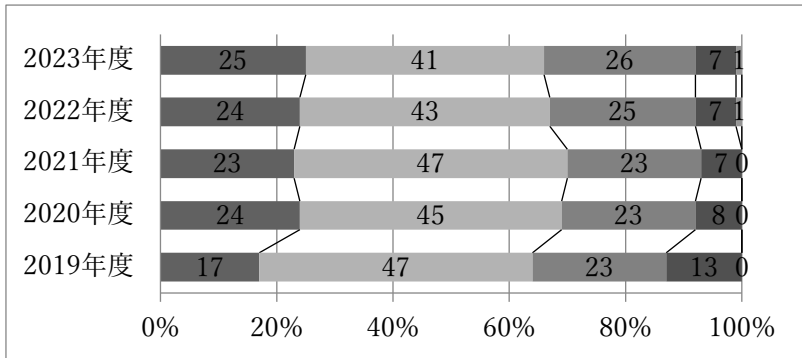
4年生らしく楽しい時間を過ごしていました。

がっこうもよういくじ こしんだん 学校教育自己診断より

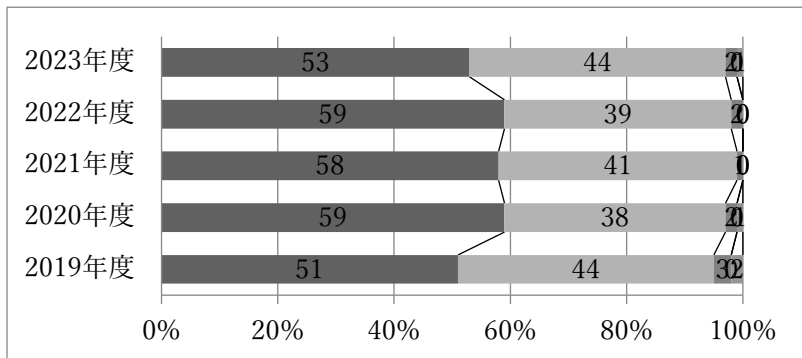
先月号に続いてアンケートの結果についてお知らせします。今回はご家庭の様子についての質問となります。各家庭でお子さんに積極的に関わっている方が多いような印象があり、学校と歩調を合わせてくださっていることに感謝いたします。今回の結果について家庭環境はそれぞれある中で、子どもにとってよりよい環境をとという観点で見させていただきますようお願いいたします。

前回同様、それぞれの回答項目は、左より順に、「よくあてはまる」「あてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」「わからない」となっており、過去5年の経年変化も示しています。

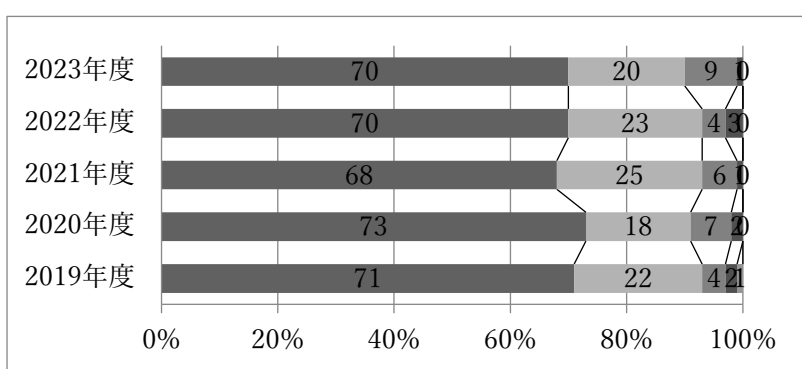
9. ゲーム機、パソコン、ケイタイ、TVなどの使い方や時間のルールをお子さんと一緒に決めている



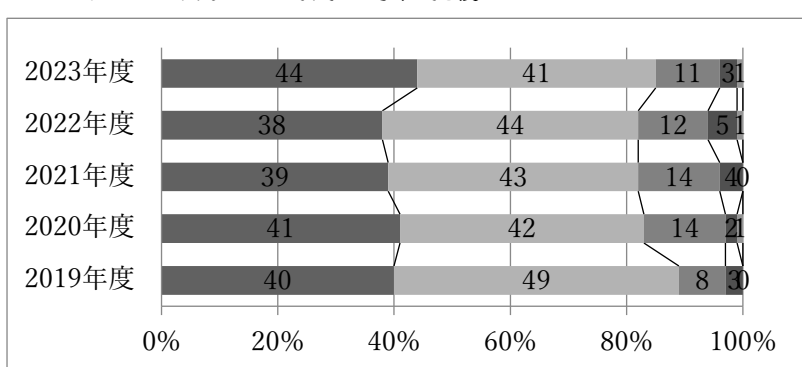
10. あいさつやお礼が言えるように教えている



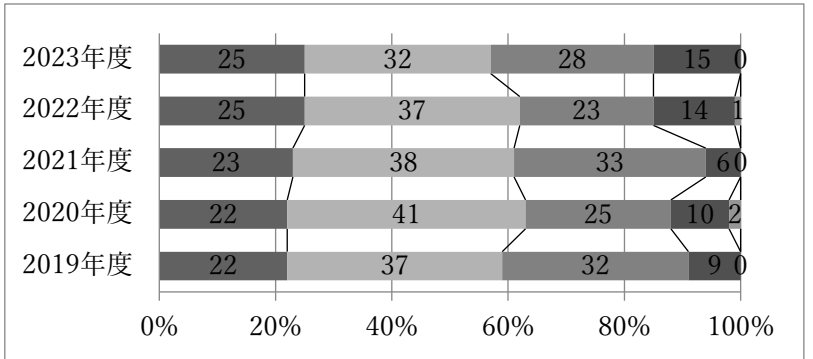
11. お子さんは、きちんと朝食を食べている



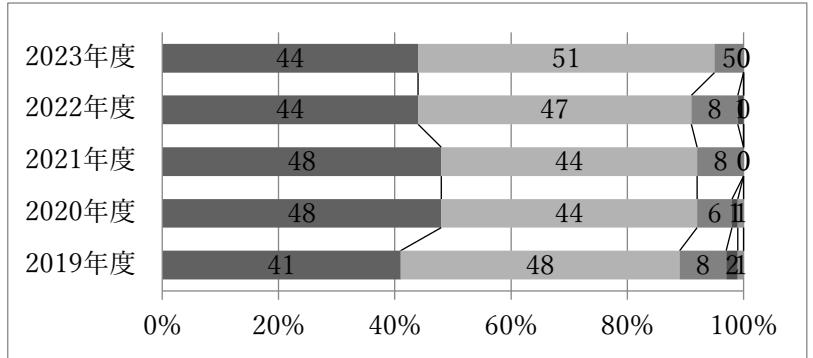
12. お子さんは、決まった時間に起床・就寝している



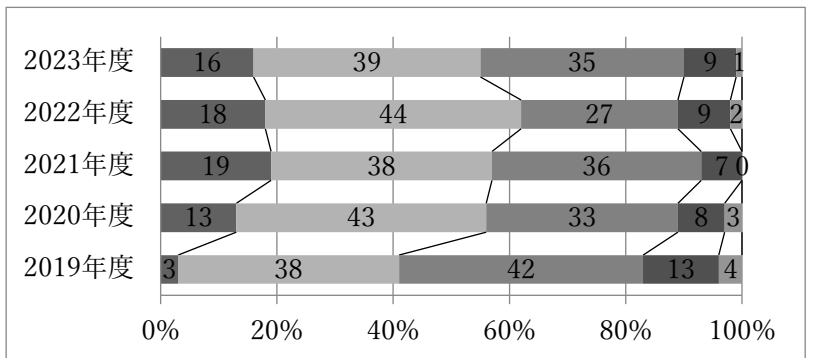
13. お子さんは、家庭での学習の習慣がついている



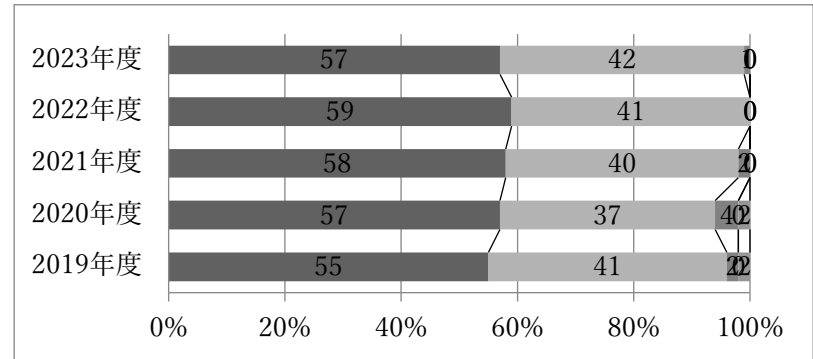
14. 一日のできごとを聞くなど、お子さんと会話している



15. 学校からの「ばっちりウィーク」や「3つの生活目標」を活用している



16. お子さんに命を大切にする心やルールを守ることについて教えている



10.11.14.16 では肯定的な回答を得ています。あいさつに関して、登校中や学校についたときに「おはよう」の言葉を笑顔とともに伝えてくれる子が多いです。また、朝食についても90%となっています。今年度は月曜と金曜に朝食堂がありました。朝食は1日の活動の源となり、学習の定着にも期待が持てます。

気になるのが9.13.15.の家庭での時間の過ごし方についてです。9.13について子どもに任せてしまっていることはないでしょうか。最近では低学年でもスマホでの動画視聴等が増えてきているようです。使用する時間や宿題等をする時間を決めておき習慣化することが望ましいです。そして、がんばっているときにはばっちりウィークではない期間でも、お子さんにポジティブな声かけをしていただくと、さらにやる気を出してくれると思います。また、「あいさつ・時間を守る・整理整頓」の3つの生活目標は社会に出てからも大切なこととなりますので、ご家庭でもお子さんと話し合い、習慣化できるようにお願いします。

来年度も、よりよい「ながさかつ子」の育成にご協力のごほうご願ひいたします。